島倉水産冷蔵庫の4階の屋内スペースに設置され

と2階の冷蔵庫

(庫腹6千~)を冷やす

を視察する冷蔵庫業者ら

システム株 小知和冷凍建設 製造・販売の日本熱源 本熱源システム フロン規制下で待望の (本社•東京) わない自然冷媒をいち早く取り入れた冷蔵庫が順調に稼働している。 **庫腹6千ヶに納入。フロン規制により自然冷媒への流れが加速する中、** 「スーパーグリーン」(日本熱源システム㈱製)をグループ企業の東北水産㈱の冷蔵庫 (庫腹千六) に導入した。この実績により地元大手の島倉水産㈱から受注、 ·専務 は4年の歳月を費やし大 型のCO2単一冷媒冷却

石田恵

ツなどの国々では本格的 ス、オーストリア、ドイ ッパで普及が進み、スイ システムを開発した。 な大型冷蔵庫や配送セン CO2冷凍機はヨーロ

ている。 ニエンスストアやスー ーのショーケース向けに

| 凍機はほぼCO2単一冷 媒によるシステムとなっ 日本でも近年、コンビ

登場 かNH3/CO2しか選 源システムはこうした状 システムとしてはNH3 択肢がなかった。日本熱 このため自然冷媒冷却

凍結装置には実績がなかが、本格的な冷蔵倉庫や

環境省補助事業の認定も 況を打開。さらに昨年、

台(型式SG-F2)、

アンモニアを使 今年2月に

別の自然冷媒がないも

痛い経験をしてきた。 る漏えい事故に遭い手

受けた。 冷蔵庫 これを弾みに日本熱源

昨年12月には東北水産の 設とともに営業を開始。 システムは小知和冷凍建 (庫腹千少) に1

は別表仕様項目を参照)。 事業所に納入した(型式 入。 さらに北海道でも2 式SG-F2を2台、S 庫(同6千少)に3台(型 G-F1を1台) を納 への導入にあたっては使 島倉水産の既存冷蔵庫

ない。

今年2月に島倉水産冷蔵 用中のフロン冷凍機(冷 れ時に若干上昇するもの 能を保ちつつ、わずか 媒R22)を動かし冷蔵機 冷やし込み、日中出し入 月経過したがトラブルは カ月で作業を完了した。 第1号機納入から3カ 夜間に割引電気料で マイナス31~同25

の冷蔵庫を視察した。 大阪から経営者らが訪 次ぐようになった。3月 **庫業経営者らの視察が相** 内は安定している。 一日には北海道、九州、 ユニット式でコンパク 今年になり全国の冷蔵 東北水産、島倉水産

がアンモニアは危険で 過去に幾度か地震によ

㈱小知和冷凍建設八戸支店はこのほど、国内で初めてCO2を単一冷媒とする冷凍機

庫腹

1000

6000

環境省

自然冷媒が望ましい

東北水産㈱ 野村石雄常務

管する貯氷庫として使

ころに朗報が舞い込のかと悩んでいたと 氷やロックアイスを保 業が楽しみ。今後は角 は15%節約でき夏の営 になった。また電気代 やたらとでかく物々 んだ。昔の冷凍機は ユニット式でコンパク しかったが、今回のは - 。 音もまったく静か 次切り替えを進めてい えるのも嬉しい。今後 で外注していたうちの 使っていた。昨年ま は資材置き場として 建設と古く、大震災後 た冷蔵庫は昭和43年 を目指す。今回改装し うなどマルチな冷蔵 はほかの冷蔵庫にも順 千少分を自社工場で賄

きたい。 の平均マイナス27度と庫

導入されるようになった を 東北水産冷蔵庫の屋外に設置 された CO2 冷凍機「SG-F2 型」 **雹内部の圧縮機(青色)**。 下段の2機で1セット

仕様表

冷凍·冷蔵倉庫用	F-1			F-2		
定格出力(kw)	24			48		
冷却能力(kw)	33.6			67.2		
室温/蒸発温度	-25°C/ -32 °C					
消費電力(kwH)	27.7	19.7	18.2	55.5	39.5	36.5
外気温	32℃	20℃	10℃	32℃	20℃	10℃
法定冷凍能力	9.94			19.88		
高圧ガス製造区分	届け出					
冷媒	CO ₂					
圧縮機	半密閉型多気筒式					
高段側	HGX34/150-4SCO2T 1台			HGX34/150-4SCO2T 2台		
低段側	HGX34e/145-4SCO2 1台 HGX34e/145-4SCO2 2台				2台	
駆動·制御方式	インバーター			インバーター		
ガスクーラー	空冷式 一体型/リモート型		空冷式	一体型/リモート型		
	ファン	0.8	1台	ファン	0.8	2台
外形寸法 一体型	1.5	1.2	2.6	2.5	1.2	2.6
外形寸法 リモート型	1.5	1.2	1.85	2.5	1.2	1.85

の普及が全国に広まりそ 2単一冷媒冷却システム も活発化し、今後はCO 契機に今後とも普及に努 めたい」と意気込む。 東北水産に導入したのを 恵一専務は「グループの 西日本からの引き合い 小知和冷凍建設の石田

KOCHIWA REITO KENSETU

トータルプランナー 設計・建築・冷凍冷蔵設備

効果が見込めるほか、オ

バーホールが4万時間

く静音。15%もの省エネ

さが従来の3分の1と細

防熱材費も含めれば

また配管のパイプの太

(5年弱) と長期。

ような騒音や不快音がな となり、スクリュー式の

ト。圧縮機はレシプロ式

株式会社 小知和冷凍建設

になるなど多数のメリッ イニシャルコストが格安

4に見学に訪れた専門家

をうならせた。

英 子 田 恵 代表取締役 小知和 専務取締役 石

東京都中央区銀座1丁目12番4号 TEL 03-3562-5844 FAX 03-3562-5847 社 八戸支店 八戸市城下1丁目12番1号 TEL 0178-43-6305 FAX 0178-43-6307



〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2-10 TEL: 03-5579-8830 FAX: 03-5579-8831

〒567-0028 大阪府茨木市畑田町13-24 TEL: 072-625-6281 FAX: 072-625-6282 東日本サービスセンター

滋賀工場 〒520-0357 滋賀県大津市山百合の丘3-1 TEL: 077-598-8121 FAX: 077-598-8122

〒133-0044 東京都江戸川区本一色1-7-15 TEL: 03-5879-3341 FAX: 03-5879-3342